



正しく強く美しく

校長室だより
No. 14
令和6年12月18日
豊橋市立南稜中学校

南稜 ESD サミットが行われました(1、2年生)

12月13日(金)南稜 ESD サミットが行われました。1年生は「みらい学習～福祉・高齢者体験・くすのき特別支援学校との交流を通して～」というテーマで福祉を考えました。学びを進める中でくすのき特別支援学校との交流を具現化していきます。そのために「くすのき特別支援学校」を訪問して、友達の様子を学んだり、オンラインで交流をしたりして、「どうすれば一緒に楽しむことができるのか」を考えゲーム作りを進めています。



2年生は「梅田川の環境」について取り組んでいます。実際に梅田川に足を運んで調査をし、調べた事実をもとに「梅田川が汚れた原因」を考えました。原因を解決する方法を考える中で、「私たちにできることをやって、梅田川をきれいな川にしていきたいましよう」と呼びかけました。

どの発表もよく練習をされており友達の追究を見合う充実した時間となりました。講師としてお招きしたくすのき特別支援学校の若林先生からは、「お互いをよく知ることが大切」、大崎校区の高井様からは「梅田川が汚れているという原因を調べ、自分たちでできることを工夫して実践することが大切」「ボランティア活動が大切」とアドバイスをいただきました。



「Think globally, Act locally(地球規模で考え、地域で行動する)」

ということばがあります。大きな目標を考えた上で、まずは、私たち一人ひとりができることを見つけ、具体的な行動を起こしていくことが、環境問題でも、福祉の充実についても大切だといえます。南稜 ESD サミットを通して、校区のことをよく知り、もっと好きになることのできた時間となりました。

大きな声で挨拶できる南稜中生!

12月9日(月)10日(火)11日(水)の3日間、1、2年生の挨拶ボランティアによる活動が朝の校門で行われました。

登校してくる子に大きな声で挨拶を呼びかけ、朝の校門では、気持ちのよい「おはようございます」が響いています。また、普段の学年の廊下でも、「こんにちは」が



当たり前にできる学校になっています。人は、第一印象が大切です。挨拶ができる南稜中生は素晴らしいです。

「静掃の時間」のよいできごと

静掃の時間、丁寧にほうきで掃いたり隅々まで雑巾で床を拭いたりする姿が見られます。2階の給食室の前で、マットの掃除をしていますと、仕事が片付いた生徒たちが集まってきて、敷かれたマットのごみを丁寧に取ったり、テープで止めたりしてお手伝いをしてくれました。おかげで気持ちのよい空間をつくることができました。

掃除に取り組む姿だけでなく、進んでお手伝いができる姿が立派です。

うれしい時間を過ごすことができました。

